

平成30年度に向けた保健福祉部の施策の基本方針 ～全ての県民が、安心して暮らし続けられる徳島へ～

2025年を見据えた 医療提供体制の構築

現状・課題

- ☐ 医師・看護師等医療従事者の養成確保
- ☐ 病床の機能分化・連携の推進
- ☐ 在宅医療の充実
- ☐ 健康指標の更なる改善
- ☐ 国保運営の県単位化への円滑な移行
- ☐ ビッグデータの活用
- ☐ ジェネリック医薬品の使用率向上

これまでの取組み

- ☐ 寄附講座や地域枠による医師の確保
- ☐ 海部・那賀モデルの構築
- ☐ 糖尿病重症化予防
- ☐ がん検診、COPDの普及啓発
- ☐ 国保の安定的な財政運営に係る政策提言
- ☐ ジェネリック医薬品適正使用の普及啓発

安心して暮らせる 地域社会の構築

現状・課題

- ☐ 地域包括ケアシステムの構築
- ☐ 貧困の連鎖への対応と自立支援
- ☐ 重症心身障がい児の支援体制整備
- ☐ 元気高齢者の社会参加の促進
- ☐ 医療・福祉分野の働き方改革
- ☐ 若年層・女性自殺者数の高止まり

これまでの取組み

- ☐ 地域包括ケアシステムの実施に向けたモデル事業の実施
- ☐ 一人親家庭等への学習支援
- ☐ 重症心身障がい児の受入れ促進・サービス拡充に係る政策提言
- ☐ シルバー大学校に地域貢献・短期講座開設
- ☐ 徳島県版介護助手制度の創設
- ☐ 自殺予防サポーターの養成

「心のバリアフリー」による 共生社会の実現

現状・課題

- ☐ 障がい者の自立と社会参加促進
- ☐ 「ボランティア文化」の醸成
- ☐ 発達障がい者の支援体制の充実
- ☐ 障がい者の平均工賃の向上による福祉的就労の促進
- ☐ スポーツ・芸術を通じた障がいのある人とない人との交流機会の拡大

これまでの取組み

- ☐ 障がいのある人もない人も暮らしやすい徳島づくり条例の制定
- ☐ ハナミズキ・アイリス設置による支援体制の確保
- ☐ 障がい者の平均工賃全国第2位
- ☐ 徳島県障がい者スポーツ協会設立
- ☐ アール・ブリュット作品展の開催

医療・福祉分野の 災害対応力の強化

現状・課題

- ☐ 医療・福祉施設のBCP策定
- ☐ 福祉避難所の機能強化
- ☐ 障がい者・重症難病患者の災害時支援体制の構築
- ☐ 行政・医療機関等の連携による円滑な受援体制の構築

これまでの取組み

- ☐ 医療機関の耐震化・高台移転
- ☐ ドクヘリの広域連携体制の構築
- ☐ BCP研修会の実施
- ☐ 福祉避難所への資機材整備支援
- ☐ 福祉避難所の運営訓練実施
- ☐ 災害時(医療・薬務・保健衛生・介護福祉)コーディネーターの充実

平成30年度・施策の方向性

地域医療提供体制の確保
健康寿命の延伸
国保財政の安定的な運営
ジェネリック医薬品の使用促進

地域包括ケアシステムの構築
地域福祉の推進
アクティブシニアの活躍
地域の絆の強化

障がい者の自立・社会参加促進
授産製品のブランド戦略の推進
障がい者スポーツの振興
障がい者芸術の振興

災害医療対応力のさらなる強化
災害時福祉分野の受援体制強化